

Alter do Chão

について



アウテル・ド・シャオン

閑静でのどかな町、アルテル・ド・シャオン（Alter do Chão）の起源は古代ローマ時代にさかのぼります。

当時、この町はアベルテリウム（Abelterium）と呼ばれ、ローマ時代の遺跡としてはフェラジアル・デル・レイ（Termas do Ferragial d' El Rei）の公共浴場やヴィラ・フォルモーザの橋（Ponte da Vila Formosa）などがこの地域で発掘されています。14世紀以降、この町は1359年にペドロ1世（D. Pedro I）によって建造された城を中心に発展しました。この城は中心のレプブリカ広場（Praça da República）にあるため、その後も引き続きこの町の重要なシンボルとなっています。

現在、この町の当局は天然資源へ多額の投資を行っています。今なお農業が主な産業ですが、畜産では馬の生育が極めて重要です。また、狩猟観光の促進にも多額の投資を行っています。

1748年にジョアン5世（D. João V）が設立した王立種馬飼育場は、この町の名前を広めることに大きく貢献しました。アルテル・レアルとして知られ、高等馬術愛好家に絶賛されているルジタニア種の馬を復活させる最初の試みが行われたのはまさにこの飼育場です。アウテル・ド・シャオン農業専門学校（Escola Profissional Agrícola de Alter do Chão）があるのもこの町です。